

一般会計

令和4年度

決算

「まちの家計簿」とも言える令和4年度の決算がまとまりました。町では、皆さんが納める大切な税金などを財源に各種事業を進めています。決算はその使い道を示すものです。一般会計と6つの特別会計の決算の概要をお知らせします。

・令和4年度山田町歳入歳出決算書から集計（四捨五入により合計が合わない場合があります）

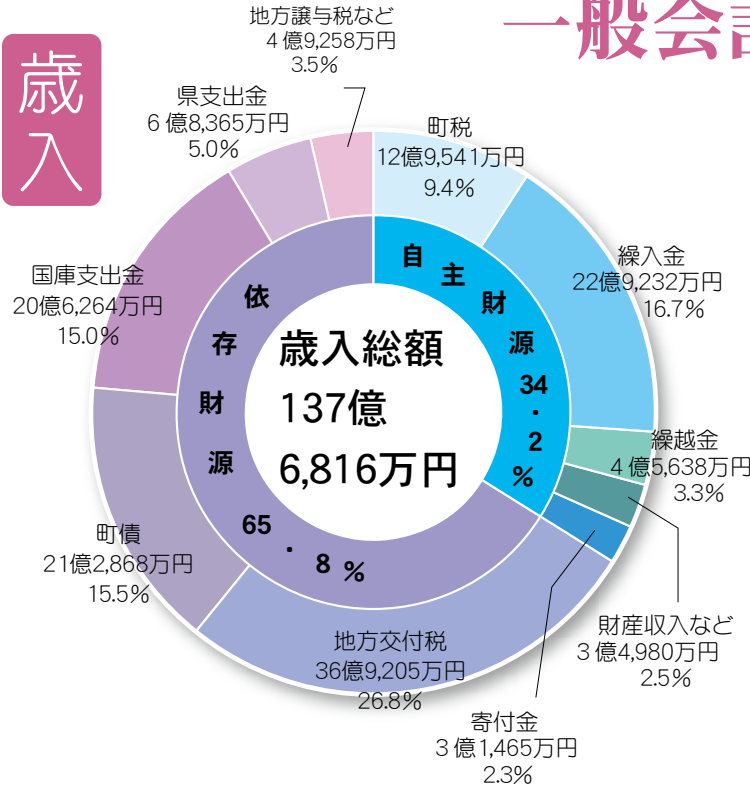
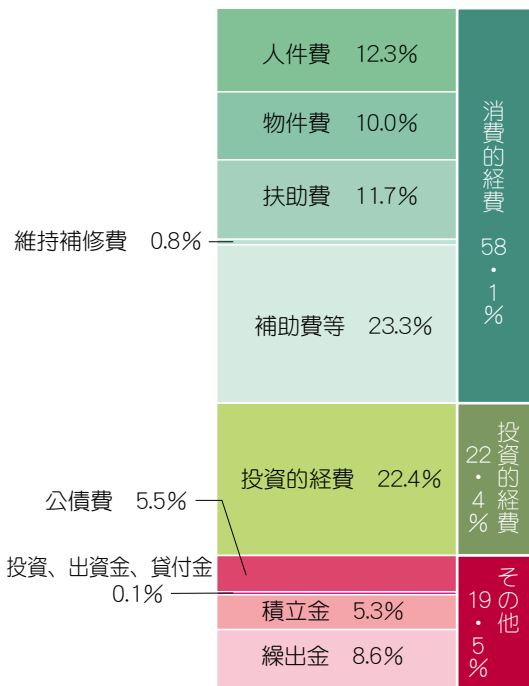
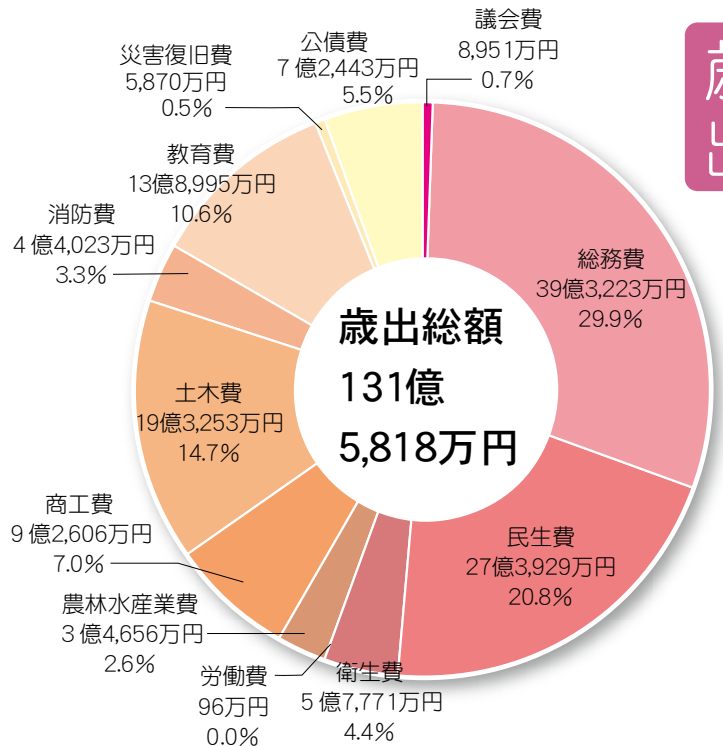


図1 歳出の性質別決算額構成比



歳出



歳出は約2億7千万円の減

歳出（町が各種事業などに使ったお金）の総額は131億5818万円で、前年度と比べるとマイナス2割、総額2億6980万円の減となりました。目的別に見ると、最も多く支出されたのが総務費で39億3223万円、前年度比は8.1割の減。主な使途としては、復興事業の事業費精算に伴う国庫返還金の18億1685万円、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の経済対策事業（プ

令和4年度の一般会計の歳入（町に入ったお金）総額は137億6816万円で、前年度と比べるとマイナス0.8割、総額1億1619万円の減となりました。町が独自に確保できる町税や繰入金など自主財源は全体の34.2割を占めています。一方、国や県から配分された補助金や町が資金調達のため政府や銀行から借りた町債などの依存財源の割合は65.8割でした。項目別では、地方交付税が最も多く36億9205万円で、歳入全体の26.8割を占めています。前年度に比べ2億4904万円の増、前年度比7.2割の増となっています。

歳入は前年度比0.8割の減



土砂災害や浸水被害を防ぐことを目的に施工された準用河川女川改修工事（田の浜地区）

写真で見る 建設事業



今年2月に完成した大沢ふるさとセンター

特別会計の決算状況

特別会計は、特定の事業を行う場合や特定の収入で事業を行う必要がある場合に、一般会計と区分して経理をするため条例で設置を定めています。

特別会計で管理することで▶受益と負担の関係や事業ごとの収支をより明確にすることができる▶適正な受益者負担、事業収入の確保や歳出削減努力を進めることができる——などのメリットがあります。

本町の特別会計は、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険（事業勘定）、介護保険（サービス事業勘定）、漁業集落排水処理事業、公共下水道事業の6会計です。

各特別会計の主な支出

- ▶国民健康保険 保険給付費14億4,411万円
- ▶後期高齢者医療 広域連合納付金 1億8,431万円
- ▶介護保険（事業勘定） 保険給付費16億6,475万円
- ▶介護保険（サービス事業勘定） 居宅介護支援事業費287万円
- ▶漁業集落排水処理事業 大浦排水処理区事業管理費1,514万円、大沢排水処理区事業管理費3,236万円
- ▶公共下水道事業 船越処理区事業管理費3,692万円、山田処理区事業管理費3,859万円、山田地区下水管渠布設事業費 3億3,882万円

◆特別会計の決算額

名称	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険	22億1,805万円	20億2,117万円
後期高齢者医療	1億9,785万円	1億9,783万円
介護保険（事業勘定）	19億3,765万円	18億5,012万円
介護保険（サービス事業勘定）	441万円	380万円
漁業集落排水処理事業	1億6,213万円	1億6,005万円
公共下水道事業	6億4,091万円	6億3,594万円

◆主な事業の決算額

（単位：万円）

議会費	議員報酬3,724 議会だより印刷製本費178
総務費	復興事業国庫返還金181,685 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の経済対策事業（プレミアム付商品券や飲食店エールチケットなど）19,557 総合防災ハザードマップ作成業務委託料1,254 コミュニティバス運行業務委託料1,002
民生費	住民税非課税世帯等臨時特別給付金3,750 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金11,325 子育て世帯臨時特別支援金7,841 障害福祉サービス給付費43,397 乳幼児児童生徒妊産婦医療費給付費2,858
衛生費	定期予防接種委託料3,078 各種検診・健康診査委託料2,689 やまだ斎苑管理運営業務委託料1,098 新型コロナウイルスワクチン接種委託料4,641
農林水産業費	農作物被害防止対策事業補助金142 いわてニューファーマー支援事業費補助金750 大浦漁村センター前舗装工事費202 アフビ等種苗放流事業費補助金1,391 豊かな浜の担い手育成支援事業費補助金150
商工費	ふるさと納税返礼特産品代 7,036 ふるさと納税推進業務委託料3,121 新道の駅建設工事費40,857 新道の駅外構工事費21,591
土木費	町道維持補修工事費8,996 橋梁補修工事費13,740 織笠礼堂地区道路改良工事費5,420 豊間根地区排水路整備工事費3,507 準用河川女川改修工事費25,958 ちびっこ公園トイレ改修工事費808
消防費	消防水利設置工事費1,659 第2分団消防ポンプ自動車購入費2,365 第1分団小型動力ポンプ購入費263
教育費	小学校費46,561 中学校費9,334 幼稚園費3,875 中央公民館大ホール吊物設備ワイヤー交換工事費578 大沢地区集会施設建設工事費20,680
災害復旧費	道路等災害復旧用地測量業務委託料117 道路等災害復旧工事費5,748
公債費	町債償還元金68,274 町債償還利子1,387

レミアム付商品券やエールチケット（1億9,557万円）などがあります。次に多いのは民生費の27億3,929万円です。前年度に比べると6割の減となっています。主な使い道としては、非課税世帯や低所得世帯、子育て世代などへの給付金や支援金で2億2,916万円、障害福祉サービス給付費の4億3,977万円などがあります。

投資的経費が0.8割増に

一般会計の歳出を性質別に分けたものが2ページの図1です。公共施設の建設や道路整備などに使われた投資的経費の割合は全体の22.4割で、前年度に比べると、0.8割の増加となりました。主な使い道としては、新道の駅建設工事費や外構工事費の総額6億2,448万円、大沢地区集会施設建設工事費の2億6,800万円などがあります。消費的経費は58.1割、そのうち各種機関や団体などへの負担金、補助金を支出する補助費が23.3割で、前年度に比べ2.9割増加しました。

◆◆◆◆◆

年々厳しさを増す財政状況の中、より一層の経費節減に努めながら、複雑多様化する行政需要に対応した町づくりが進められています。